

必要な設定と基本の使い方 (Windows OS の場合)

コンピューターで作成したデータをネットワーク経由で印刷します。
ここでは、インストーラーを利用して、標準印刷で設定する方法を紹介しています。



プリンタドライバのインストール

準備 概要	STEP 1 (管理者) ケーブルの接続を確認する 本機がネットワーク回線と正しく接続されているかを確認します。	操作 概要	ACTION 1 原稿データを開く アプリケーションソフトウェアで印刷したいデータを開きます。
	STEP 2 (管理者) 本機のネットワーク設定を確認する 本機のネットワーク設定を確認します。 通常は初期設定でお使いいただけます。		ACTION 2 プリンタードライバーを設定し、印刷する プリンタードライバーを選択し、必要に応じて設定を変更してから印刷します。
	STEP 3 プリンタードライバーをインストールする コンピューターにプリンタードライバーをインストールします。 ※ 2回目以降は、これらの準備をせずにご利用できます。		

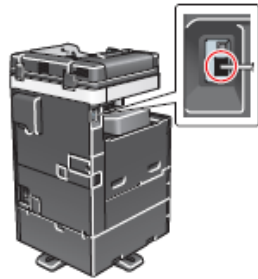
準備

※ 2 日目以降は、これらの準備をせずにご利用できます。

STEP 1 (管理者)

ケーブルの接続を確認する

本機の LAN ポートに LAN ケーブルが接続され、緑の LED が点灯しているかを確認します。



STEP 2 (管理者)

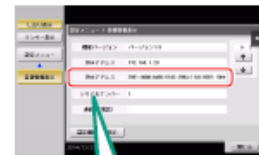
本機のネットワーク設定を確認する

[設定メニュー] をタップし、[装置情報表示] を選びます。

● IPv4 環境の場合



● IPv6 環境の場合

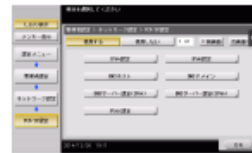


IP アドレスが表示されていれば OK

POINT

- 通常は初期設定の状態でお使いいただけますが、お使いのネットワーク環境によっては、設定の変更が必要な場合があります。
- IP アドレスが表示されていない場合は、ネットワーク設定が必要です。

[設定メニュー] をタップし、[管理者設定] - [ネットワーク設定] - [TCP/IP 設定] を選びます。環境に合わせて必要な設定を行います。



詳しくは、ユーザーズガイド CD をごらんください。

管理者パスワードの初期値は P.139 をごらんください。

準備

※ 2 日目以降は、これらの準備をせずにご利用できます。

STEP 3

プリンタードライバーをインストールする

インストーラーを使って、プリンタードライバーをインストールします。

CHECK! この操作を行うにはコンピューターの管理者権限が必要です。

プリンタードライバーの CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブへセットします。



[プリンターのインストール] をクリックします。



ネットワークを自動検索し、ドライバーに対応するプリンター、複合機が表示されます。



リストの中から、本機を選びます。

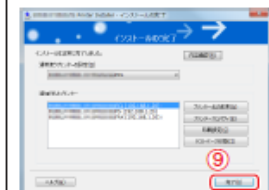
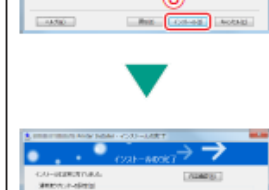
POINT

同じ機種が複数表示される場合は IP アドレスを確認して選びます。本機の IP アドレスの確認方法は STEP 2 をごらんください。

➡ P.32



インストールしたいプリンタードライバーにチェックをつけます。



操作手順

ACTION 1

原稿データを開く

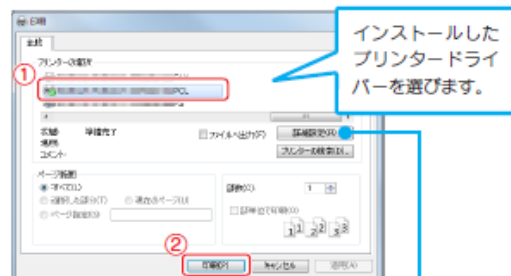
アプリケーションソフトウェアで印刷したいデータを開きます。



[ファイル]メニューから[印刷]を選びます。

ACTION 2

プリンタードライバーを設定し、印刷する



- [詳細設定]をクリックして、必要に応じてプリンタードライバーの設定を変更できます。
- 本機でユーザー認証を実施している場合は、ユーザー名やパスワードなど、必要なデータを設定します。

プリンタードライバーの種類

プリンタードライバーは、印刷用途に合わせて選びましょう。

- PCL オフィスで作成する一般的な原稿を印刷する場合に、標準的に利用できるドライバーです。3つのドライバーの中でもっとも速く印刷できます。
- PS AdobeなどのPS対応のアプリケーションソフトウェアで作ったデータを忠実に印刷したいときに効果を発揮します。グラフィックや軽印刷などの色再現性を重視する分野でよく使われています。
- XPS Windows Vista以降に登場したXML Paper Specification (XPS) 対応ドライバーです。半透明が高品質に再現できるなどのメリットがあります。

